社会調査のプリテストにあたって（2005 年 5 月 11 日，上智大学）

統計数理研究所　　松本　渉

代表的な社会調査

・　日本

（１）日本人の国民性調査（1953-，5 年おき）

http://www.ism.ac.jp/~maeda/KSJapan/index.htm　統計数理研究所

これとは別に，国際比較については，日米欧 7 カ国調査・東アジア価値観調査がある。

http://www.ism.ac.jp/~yoshino/

（２）日本版 GSS（2000, 2001, 2002, 2003, 2005～）

http://jgss.daishodai.ac.jp/japanese/frame/japanesetop.html

大阪商業大学比較地域研究所・東京大学社会科学研究所

国際比較については，2006 年から EASS（東アジアにおける社会調査）が予定されている。

（３）SSM (Social Stratification and Social Mobility) 調査（1955-，10 年）

「社会階層と社会移動」全国調査で，1955 年の第 1 回調査（日本社会学会による）以来 10 年ごとにおこなわれているもの。ただし，時期により実施主体が異なる。

・　海外

（１）GSS（1972-,毎年；1994 以降, 隔年）http://www.norc.uchicago.edu/issues/ecopop2.asp

アメリカの National Opinion Research Center（シカゴ大学）

（２）WVS（世界価値観調査）http://www.worldvaluessurvey.org/

アメリカ・ミシガン大学社会調査研究所のロナルド・イングルハート教授らが中心

本日のプリテスト（JGSS2005）の実施要領（本番とは少し違います）

・　面接票…二人一組になって，片方が片方を面接するということを交互にする。

このとき，答えにくい質問があれば，一旦，飛ばして，後で，自分で記入しても良い。

・　留置票…自分で記入して，面接票と合わせて一つの封筒に入れる。

※　やっているうちに，何か気になる点（答えにくい，文意が分からない等）があれば，遠慮なく，質問・報告してください。それも，プリテストの目的のうちです。

※　面接調査票の冒頭のページの下のところにある、性別と年齢のところに回答者の性別と年齢を，必ず記入してください。

（参考）データアーカイブ

・　JGSS の結果は，東京大学社会科学研究所附属日本社会情報研究センターSSJ データアーカイブに寄託される。（http://ssjda.iss.u-tokyo.ac.jp/）

・　アメリカでは，ICPSR（日本窓口の URL　http://ssjda.iss.u-tokyo.ac.jp/icpsr.html）